

インクジェットプリンタ TS55-1800

お手入れのお願い

本機は非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特にインクを吐出するヘッドのノズル面は、わずかなホコリや紙粉の付着でも影響を及ぼし、正常なプリント結果を得られなくなる可能性があります。より良い状態でご使用いただくために、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

お手入れを行うタイミング

お手入れを行うタイミング	お手入れ項目	参照ページ
毎日 (1日の作業終了後)	ヘッド周辺	P.3
	ワイパー	P.4
	キャップ	P.5
	キャップ吸収材	P.6
1週間に1回 (週末の作業終了後)	ノズル洗浄	P.7
	廃インクタンクのインク廃棄	P.7
	インクパック	P.7
汚れた場合 消耗した場合	メディア押さえ	P.8
	メディアセンサー	P.8
	プラテン	P.8
	キャリッジフィルター	P.9
	吹付けファンフィルター	P.9
	外装	P.9
	ピンチローラー	P.9
	ワイパークリーナー	P.9
	カッター刃	P.9
	2L エコケーススパウトゴム	P.9
	MBIS オスコネクタ	P.9
	端面ガイドフィルム	P.10
長期間使用しない場合	「保管洗浄」の実行	P.11



お手入れに必要な道具

- ヘッド周辺用クリーンスティック (品番: SPC-0527)
- 洗浄液 03 メンテナンスキット (品番: ML003-Z-K1)
- 綿棒
- 保護メガネ
- 手袋
- 柔らかい布
- ペーパータオル

安全上のご注意

⚠ 注意



お手入れの際は必ず**付属の保護メガネと手袋**を装着してください。



万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
インクが皮膚に付着した場合は、大量の水および石鹸または皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落としてください。



インクは、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面、ヘッド周辺やキャップ、ワイパーなどに、水またはアルコールを付着させないようにご注意ください。



本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間使用（出力）しないときは、充填するインク種によって定期的に微量のインクを吐出（フラッシング）させる必要があります。
長時間使用しないときは、本機の [ホカンセンジョウ] 機能（取扱説明書 4 章「長期間使用しない場合」）を実行してから、前面の電源ボタンのみを OFF にしてください。右側面の主電源スイッチは ON（| の状態）およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。



本機を絶対に分解しないでください。感電、火災および破損の原因になります。



本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電、火災および破損の原因になります。



お手入れは、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。



ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質、変形する恐れがあります。



本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。

設置環境

- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- 使用環境は、+20 ～ +30 °C（68°F ～ 86°F）、35 ～ 65% Rh です。これより低温湿 / 高温湿でのご使用は避けてください。

オートメンテナンス

- 本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。取扱説明書 4 章「オートメンテナンス」を参照してください。

毎日行うお手入れ



- ヘッド周辺 / キャッピングステーション / ワイパを清掃するときは、クリーンスティック（品番：SPC-0527）をお使いください。
通常の綿棒をお使いになると、糸くずが残って二次障害を引き起こすことがあります。
- キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパは、必ず毎日メンテナンスをおこなってください。
汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生する恐れがあります。
- キャリッジ下面がインクやホコリの付着により汚れないように、必ず毎日清掃をおこなってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイブ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすり付けてしまう恐れがあります。
- キャリッジ下面を清掃する場合、ノズル面をこすらないよう、十分に注意してメンテナンスをおこなってください。

ヘッド周辺（取扱説明書 4 章「ヘッド周辺の清掃」）

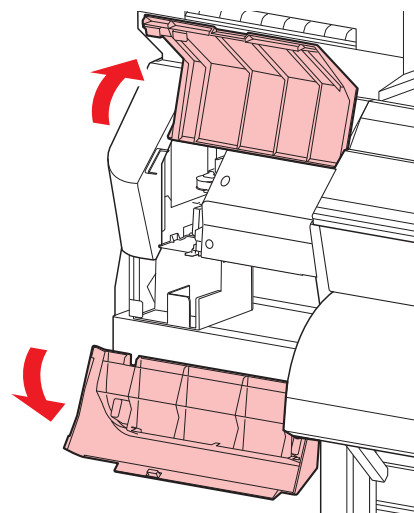
- 洗浄液 03 メンテナンスキット（品番：ML003-Z-K1）



- ヘッド周辺は、本機の中で最も汚れがたまりやすく、本機の動作や作図結果に影響を及ぼす恐れのある場所です。また、ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れには十分な注意が必要です。

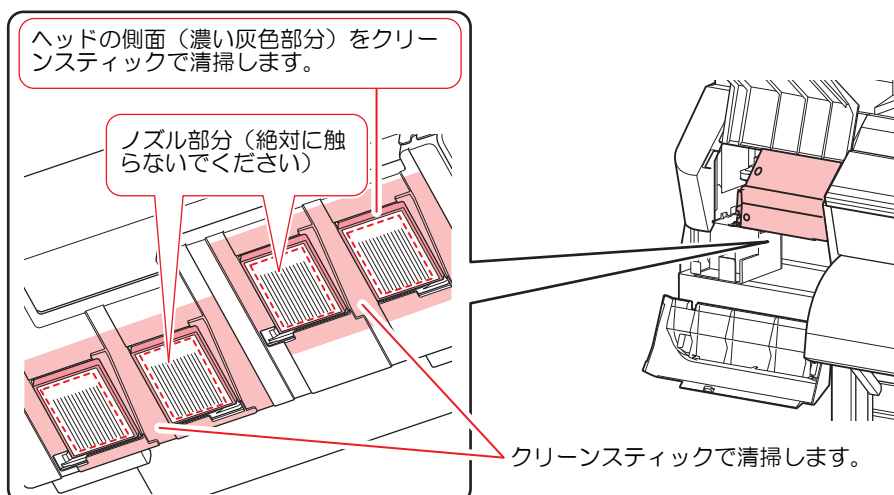
1 キャリッジを左へ移動させ、メンテナンスカバーを開く。

- 取扱説明書 4 章「ヘッド周辺の清掃」手順 1 ～ 4 を参照して操作してください。



2 クリーンスティックまたはウェスにメンテナンス洗浄液を含ませ、ヘッドの側面、キャリッジ底面に溜まったインクを拭き取る。

- ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



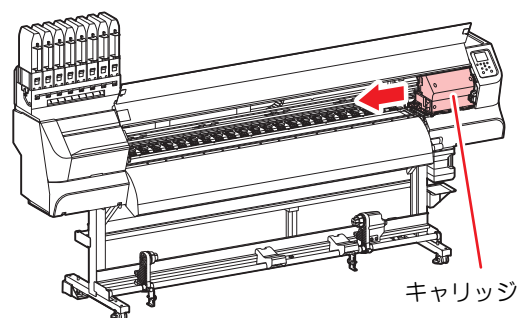
ワイパー（取扱説明書 4 章「ワイパーの清掃」）

ワイパーには、インク、ホコリおよび紙粉などがたまります。ワイパーの状態を確認し、汚れていたら清掃してください。

- 洗浄液 03 メンテナンスキット（品番：ML003-Z-K1）

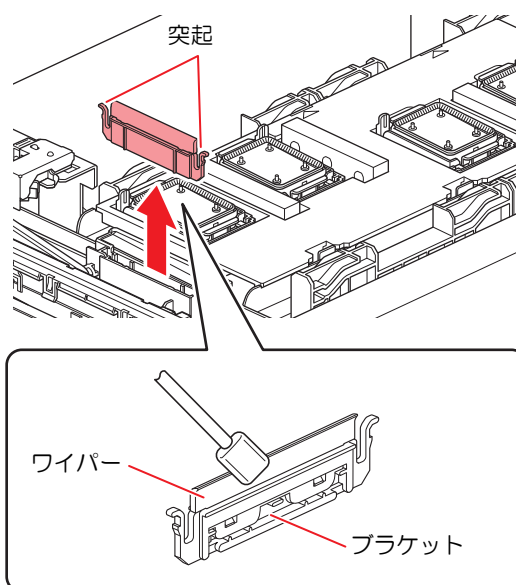
1 キャリッジを移動させる。

- 取扱説明書 4 章「ワイパーの清掃」
手順 1 ～ 4 を参照して操作してください。



2 ワイパーを清掃する。

- ワイパー両端の突起を持って、ワイパーを取り出します。
- クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーとブラケットに付着したインクを拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



また、次のような場合は、取扱説明書 4 章「ワイパーを交換する」にしたがって、新品のワイパーキットと交換してください。

- ワイパーが変形している場合
- 固着したインクが拭き取れない場合
- ワイパー交換のワーニングが表示された場合
- クリーニングしてもノズル抜けや飛行曲がり直らない場合

ヘッドの高さによって、使用するワイパーが異なります。

レンジ	ワイパー
Low	ワイパー（品番：SPC-0843）
Mid	
Hi	HiGap 用ワイパー（品番：SPC-0850）



- 必ずヘッドの高さに合わせたワイパーをご使用ください。ノズル抜けや混色などの吐出不良の原因となります。
- ワイパーを変更した場合、ワイパー使用回数はリセットされます。

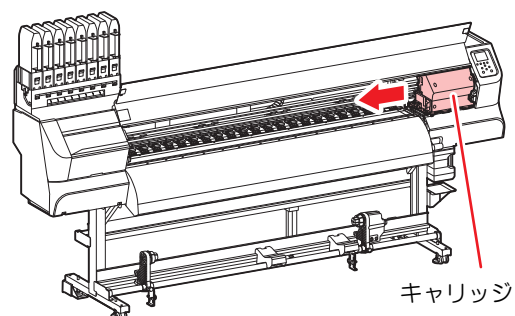
キャップ（取扱説明書 4 章「キャップの清掃」）

キャップ周辺も、ホコリやインクがたまりやすい場所です。ご使用のインクに適したメンテナンス用洗浄液を使用し、ヘッドに汚れが付着しないよう、こまめな清掃をお勧めします。

- 洗浄液 03 メンテナンスキット（品番 :ML003-Z-K1）

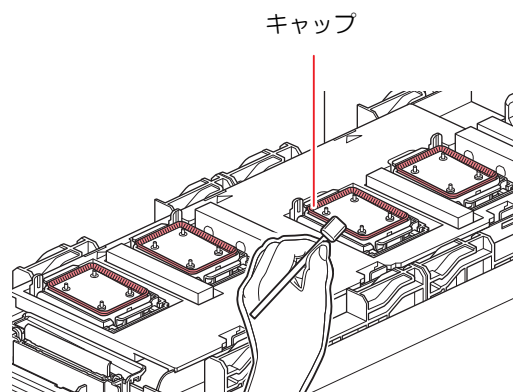
1 キャリッジを移動させる。

- 取扱説明書 4 章「キャップの清掃」
手順 1～4 を参照して操作してください。



2 キャップを清掃する。

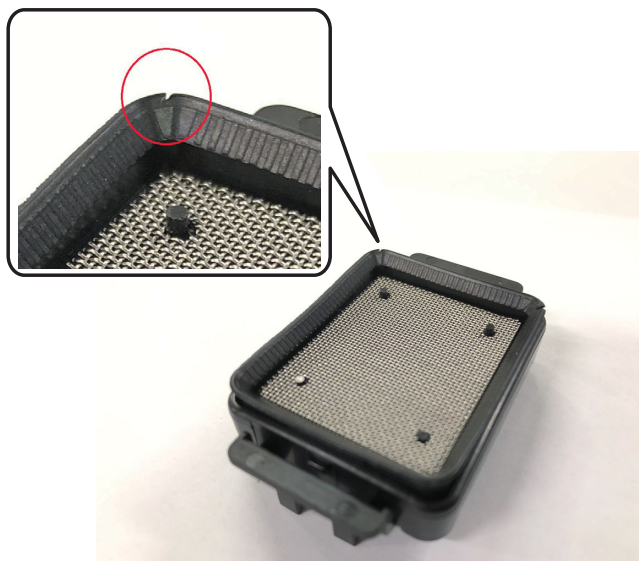
- クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



汚れや傷、またはクリーニングしてもノズル抜けが変化しない場合（吸引不良）は、取扱説明書 4 章「キャップを交換する」にしたがって、新品のキャップ（品番：SPC-0842）と交換してください。



- 下記のようにキャップのフチに傷、破損がある場合は必ず交換してください。

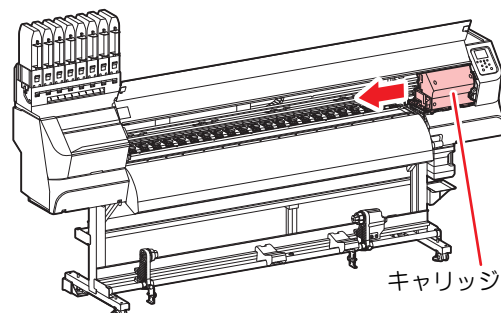


キャップ吸収材の清掃（取扱説明書 4 章「キャップ吸収材の清掃」）

キャップ吸収材には、インクが付着します。キャップ吸収材の状態を確認し、汚れていたら清掃してください。

1 キャリッジを移動させる。

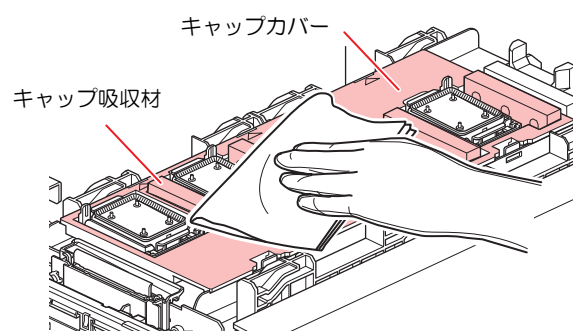
- 取扱説明書 4 章「キャップ吸収材の清掃」
手順 1 ～ 4 を参照して操作してください。



2 キャップ吸収材に付着したインクを、ペーパータオルなどで押さえるように拭き取る。

- キャップカバーが汚れている場合は、清掃してください。

キャップ吸収材の汚れがひどい場合は、取扱説明書 4 章「キャップ吸収材を交換する」にしたがって、新品のキャップ吸収材（品番：SPC-0845）と交換してください。



定期的に行うお手入れ（1 週間に 1 回）

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、1 週間に 1 回、定期的にお手入れをしてください。

ノズル洗浄（取扱説明書 4 章「ノズル洗浄」）

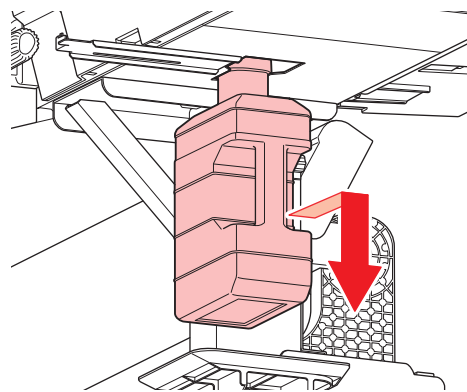
印刷不良が発生しないように、定期的にノズル洗浄を行ってください。



- 定期的なお手入れをする場合は、洗浄液の放置時間を "60min" に設定してください。

廃インクタンク（取扱説明書 4 章「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」）

廃インクタンクが満杯になっていないか確認して、廃インクがあふれないように注意してください。



インクパック（取扱説明書 4 章「インクパックのメンテナンス」）

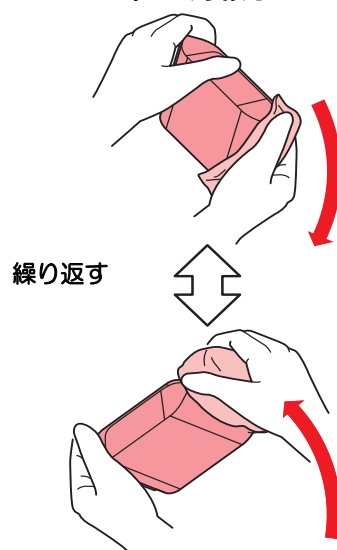
インクパックを振り、パック内のインクを攪拌させる作業を 1 週間に 1 回実施してください。

実施しないと、パック内のインクが沈降することにより色味差が発生する場合があります。



- MBIS(オプション) の脱着回数は計 10 回以内としてください。

ペーパータオルでしっかりと押さえて
ゆっくり振る



- 使いかけのインクパックをご使用される場合は、振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、紙タオル等でインクパックのコネクタ部をおさえた状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。
- 強く振りすぎるとインク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、インクパックが縦になるまで傾けてください。

汚れた場合

メディア押さえ（取扱説明書 4 章「メディア押さえの清掃」）

メディアのカットくずやホコリがメディア押さえとプラテンの間にたまると、メディアの搬送が正常に行えなかったり、ノズルに付着して正常なプリントができなくなる恐れがあります。こまめに清掃してください。

メディア押さえの汚れがひどい場合は、取扱説明書 4 章「メディア押さえを交換する」にしたがって、新品のメディア押さえ（品番：SPC-0789）と交換してください。



- ・インクがメディアの端面に付着して汚してしまう場合は、必ず清掃してください。
- ・インクが頻繁に付着する場合は、吸着ファンを"弱"または"標準"に設定することをお勧めします。

メディアセンサー（取扱説明書 4 章「メディアセンサーの清掃」）

センサーは、本体背面の背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。

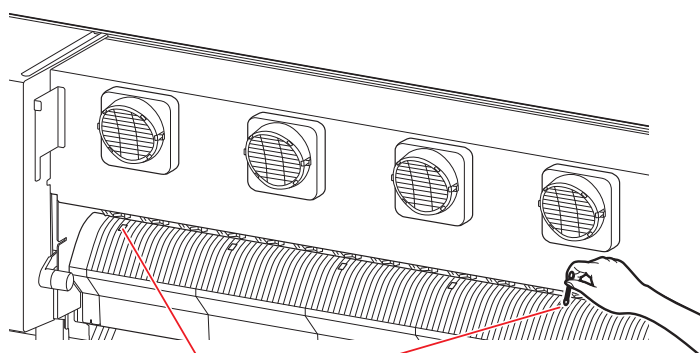
センサーにホコリやインクが付着すると、メディアの誤検知の原因になります。柔らかい布や綿棒でふき取ってください。



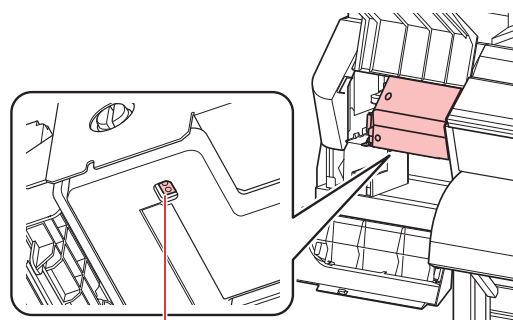
- ・センサーの清掃には、溶剤は絶対にお使いにならないでください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

装置背面

ヘッド下面



メディアセンサー



メディア幅センサー

プラテン（取扱説明書 4 章「プラテンの清掃」）

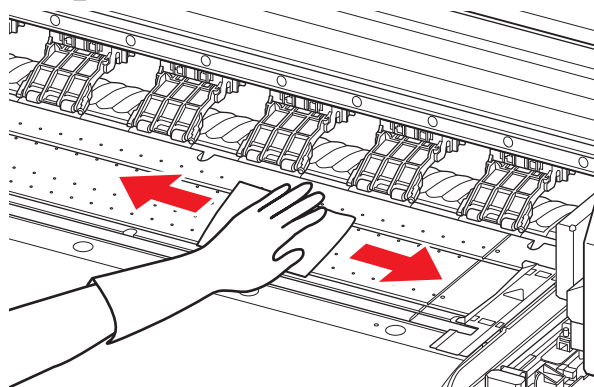
プラテンは、ホコリ、紙粉、インク汚れが付着しやすい場所です。こまめに清掃してください。

柔らかい毛のハケや乾いた布で、プラテン面およびプラテンカバーを拭いてください。

メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝（カッターライン）などは特に汚れがたまりやすい場所です。入念に清掃してください。



- ・インクがメディアの端面に付着して汚してしまう場合は、必ず清掃してください。
- ・インクが頻繁に付着する場合は、吸着ファンを"弱"または"標準"に設定することをお勧めします。



キャリッジフィルター（取扱説明書 4 章「キャリッジフィルターの交換」）

キャリッジフィルターが汚れた場合は、取扱説明書 4 章「キャリッジフィルターを交換する」にしたがって、新品のキャリッジフィルター（品番：SPC-0844）と交換してください。

吹付ファンフィルター（取扱説明書 4 章「吹付ファンフィルターの交換」）

吹付けファンフィルターが汚れた場合は、取扱説明書 4 章「吹付ファンフィルターを交換する」にしたがって洗浄、または新品の吹付ファンフィルター（品番：SPC-0856）と交換してください。



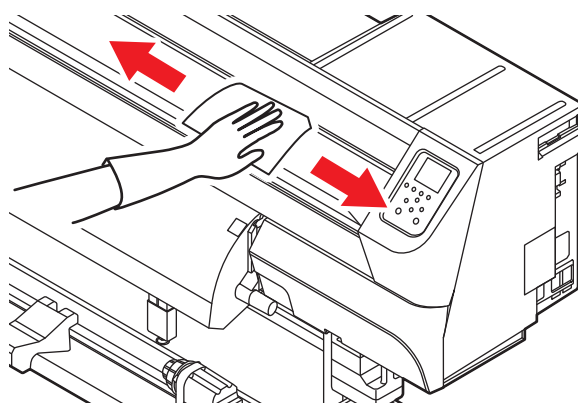
- 吹付ファンフィルターを洗浄したあとは、必ずファンフィルターが乾いてから本機に取り付けてください。

吹付ファンフィルターお手入れの目安

2 週間毎	汚れていた場合は洗浄（水洗い）してください。
3 か月毎	交換してください。

外装（取扱説明書 4 章「外装のお手入れ」）

使用環境により、本体の外装には塵や砂埃が付着することがあります。ヘッド移動部へのホコリの進入を防ぐために、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってからふき取ってください。



インク排出路（取扱説明書 4 章「インク排出路の洗浄」）

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてください。



- インク排出路の洗浄を行う前に、必ず洗浄カートリッジがセットされていることを確認してください。洗浄カートリッジがセットされていない場合は、手動で洗浄液を満たす必要があります。

ピンチローラー（取扱説明書 4 章「ピンチローラーの交換」）

ピンチローラーが汚れた場合は、取扱説明書 4 章「ピンチローラーを交換する」にしたがって、新品のピンチローラー（品番：SPA-0247）と交換してください。

ピンチローラー交換の目安

1 日 12 時間稼働の場合	1 か月毎に交換
1 日 24 時間稼働の場合	2 週間毎に交換

ワイパークリーナー（取扱説明書 4 章「ワイパークリーナーの交換」）

ワイパークリーナーが汚れた場合は、取扱説明書 4 章「ワイパークリーナーを交換する」にしたがって、新品のワイパークリーナー（品番：SPA-0243）と交換してください。交換の目安は、1 年に 1 回程度です。

カッター刃（取扱説明書 4 章「カッター刃の交換」）

カッター刃の切れ味が悪くなった場合は、取扱説明書 4 章「カッター刃を交換する」にしたがって、新品のカッター刃（品番：SPA-0107）と交換してください。

2L エコケーススパウトゴム（取扱説明書 4 章「2L エコケーススパウトゴムの交換」）

2L エコケーススパウトゴムは、6 か月に 1 回程度交換してください。取扱説明書 4 章「2L エコケーススパウトゴムを交換する」にしたがって、新品のスパウトゴム（品番：SPA-0317）と交換してください。

MBIS オスコネクタ吸収材（取扱説明書 4 章「MBIS オスコネクタ吸収材」）

MBIS オスコネクタ吸収材が汚れた場合は、取扱説明書 4 章「MBIS オスコネクタ吸収材」にしたがって、新品の MBIS オスコネクタ吸収材（品番：SPA-0625）と交換してください。
交換目安は、2L インクパック交換回数で 5 ～ 10 回程度です。

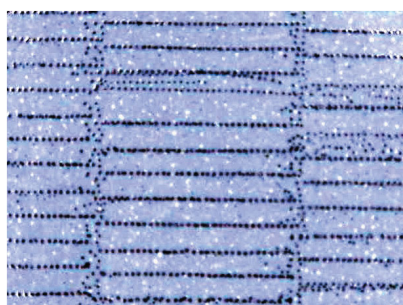
端面ガイドフィルム（取扱説明書 4 章「端面ガイドフィルムの交換」）

端面ガイドフィルムが折れてしまったり、摩耗している場合は、取扱説明書 4 章「端面ガイドフィルムの交換」にしたがって、新品の端面ガイドフィルム（品番：SPC-0854）と交換してください。

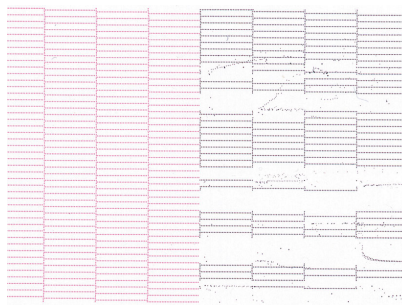
作図不良の例

- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- 使用環境は、+20 ～ +30 °C（68°F ～ 86°F）、35 ～ 65% Rh です。これより低温湿 / 高温湿でのご使用は避けてください。

ホコリなどを原因として発生するヘッド（ノズル）の吐出不良が、作図に及ぼす代表的な例を示します。このような状態で使用しないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認してください。ノズルの状態は、本機の「テストプリント」で確認できます。（取扱説明書 2 章「テストプリントを行う」）



1. 飛行曲がり



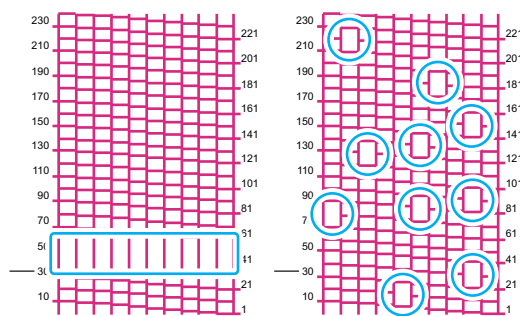
2. ノズル抜け



3. ボタ落ち



4. しびき



5. 空気の混入

ノズル吐出不良の回復方法

本機を長時間使用しなかった場合や環境温度によっては、ノズルの吐出が不安定になる場合があります。この場合、ノズルを回復させるために以下の方法があります。

■ 10 ページの「作図不良の例」1～4 の症状の場合

1. 日ごろのお手入れ

- 本書に記載されている、各所のお手入れを行ってください。

2. ヘッドクリーニング（ノーマル）をする 取扱説明書 2 章

- 1 のお手入れを行った後、取扱説明書の手順に従ってヘッドクリーニングを実施します。

テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2 章)

ノズル抜け等が改善しない場合

3. ヘッドクリーニング（ハード）をする 取扱説明書 2 章

- 数回ノーマルクリーニングを繰り返してもノズル抜けがなくなる場合、クリーニングモードをハードに設定して、再度ヘッドクリーニングを実施します。

テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2 章)

ノズル抜け等が改善しない場合

4. ヘッドノズルの洗浄をする 取扱説明書 4 章

- ヘッドノズルの洗浄をしてください。
このとき、メンテナンス洗浄液の放置時間は [1 分] にします。

テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2 章)

ノズル抜け等が改善しない場合

5. 再度、ヘッドノズルの洗浄をする 取扱説明書 4 章

- メンテナンス洗浄液の放置時間を [10 分] にして、再度、ヘッドノズルの洗浄をしてください。

テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2 章)



- ノズル抜けが回復しない場合には、取扱説明書 4 章「ノズルリカバリ機能」にしたがって、ノズル抜けを回復させることができます。



- 以上の操作をしてもノズル抜けが回復しない場合には、弊社または本機をお買い上げいただいた販売店にサービスコールをしてください。

長期間使用しない場合

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。

サプライ品のご案内

品名	品番	品名	品番
洗浄液 03 メンテナンスキット	ML003-Z-K1	ファンフィルター K	SPC-0856
カッター刃 ASSY	SPA-0107	メディア押さえ	SPC-0789
ワイパークリーナー	SPA-0243	3 インチ紙管	SPC-0827
角廃インクタンク 2L	SPA-0246	キャップ ASSY	SPC-0842
PR10	SPA-0247	ワイパーキット	SPC-0843
MB スパウトゴム	SPA-0317	キャリッジフィルター	SPC-0844
廃液拡張キット	SPA-0311	キャップ吸収材	SPC-0845
MBIS オスコネクタ吸収材	SPA-0625	HiGap 用ワイパーキット	SPC-0850
ヘッド周辺用クリーンスティック	SPC-0527		



お問い合わせ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

<https://japan.mimaki.com/>

テクニカルコールセンター

 **0120-106-114**

お問い合わせ時間： 午前 9:00 より午後 6:00 まで

営 業 日： 月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）

「お手入れのお願い」の最新版は、弊社公式サイトからもダウンロードできます。

© 2018 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.

D203291-17-19032021

KW